

4技能評価のためのタスク実践例ー教科書にひと工夫

藤田義人



Compass English Communication II, Lesson 3 “Cooking with the Sun” は、太陽光を熱に変える調理器具ソーラークッカーの仕組みと意義を述べたレッスンである。この課を題材として、4技能タスクの実践例を紹介する。特にタスクの実施場面を限定しないが、授業中の活動の1つとして、あるいは定期考査としても応用可能と考えられる。なお、副教材の1つである『学習ノート』も適宜使用した。それぞれの勤務校の状況に応じて応用していただけると幸いである。

＜リスニング評価タスク例＞

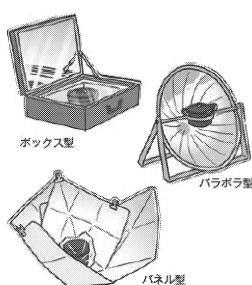
Lesson 3 Part 2 は3つの種類のソーラークッカーを紹介している文章である。ここではALTに依頼し、本文をベースに放送原稿を作ってもらい、次のタスクを実施する。

タスク：

あなたにはソーラークッカーを欲しがっている友達がいます。テレビショッピングを見て、友達にふさわしいソーラークッカーを勧めましょう。

●友達の健太：安いのがいいな。

●友達のさゆり：いろいろ調理できるのがいいわ。



times rely on parabolic solar cookers for all their cooking needs. They use the highest temperatures and must be handled with care. Of course you might be interested in our oldest and most popular style. Promoted in India by the government in 1982, the box cooker is a classic. (以下略)

テレビショッピング、欲しがっている友達の存在など、ちょっとした工夫で authenticity を意識させ、活動へ取り組む姿勢を高めている。なお、『学習ノート』にもリーディングバージョンとして以下のように同じような問題がある。(それぞれのタイプのソーラークッカーが向いているか教科書本文を読んで答えさせる。)

Saki : I want to cook as quickly as possible.

Takuya : I need a solar cooker which is familiar to many people.

Mandy : I don't like one that is difficult to use.

＜スピーキング評価タスク例＞

Lesson 3 の課末に用意されている Review は次のようなインタビュー形式なので、スピーキングタスクとして活用する。

Q(教師) : How does a solar cooker work?

A(生徒) : A mirror or reflective panel concentrates (1.) into a small area. A black pot absorbs the concentrated sunlight and turns it into heat (2.). (以下略)

＜TV ショッピング原稿＞

We are running a solar cooker campaign. There are three types of solar cooker for you to choose from. Are you interested in a parabolic cooker? People in Indian and Vietnamese villages some-

生徒は原稿を音読する。このとき空所を補充しながら音読させることで少し負荷をかける。ただし、これで終わるとスピーキングの要素が少ないので最後にひと工夫する。それは Review に記載されている原稿の音読が終わったら、最後に教師が即興で次のような質問をするというものである。

Q: What do you think is one disadvantage?

Q: Which solar cooker would you like to use?

こういった質問をすることで生徒との会話が生まれ、生徒のスピーキング力を試すことができる。音読部分では発音・イントネーションなどの accuracy を評価することとし、最後の質問への解答は fluency を評価することとして実施すると評価のバランスがとれる。

＜・リーディング評価タスク例

Compass はパート毎に見開きで構成されているので、1時間ごとの指導がしやすいという利点があるが、この利点ゆえに、まとまった量の文章を一度に読ませるということが教科書そのものでは難しい。この点を解決しているのが『学習ノート』の「まとめ」のページである。ここでは1レッスン分の本文がまとめて掲載されており、その迫力に圧倒される生徒もいるかもしれないが、是非挑戦させたい分量である。

実際の例は『学習ノート』を参考にしていただきたいと思うが、指導用 CD-ROM 所収の「教科書本文」デジタルデータを利用して、B4判に印刷するなどしてひと工夫したオリジナルの問題を作ることも可能である。定番の、1) 虫食いの英語の要約文を用意し完成させる、2) 代名詞や副詞の内容を英語で答えさせる、3) 適切な文を空所に入れる、といった加工に加えて、4) 本文をすべて肯定文（あるいは否定文）にして、不適切な箇所を指摘させる、といった出題も作成が楽

で、その上読解力をそれなりに測れていると感じる。初見題材にふさわしい出題形式、既習題材にふさわしい出題形式にできる限り注意を払い、出題するようにしている。

＜・ライティング評価タスク例

『学習ノート』のまとめのページには当該レッスンで学んだ文法事項を用いて取り組む和文英訳問題が掲載されているので、これを利用してライティング力を評価することも可能であるが、和文英訳で測れるライティング力は限定的であるので、ここでも教師側のひと工夫が求められる。

近年の技能統合を意識した指導や、外部試験のライティング問題を考慮し、ここでは本文の内容を踏まえたライティングに取り組ませる。例えば次のようなお題（英語・日本語どちらでも可）が考えられる。

Part 1: ソーラークッカーとは何ですか？

Part 2: あなたはどのソーラークッカーがほしいですか？

Part 3: ソーラークッカーの問題点を2つ推測しなさい。

Part 4: 先進国でソーラークッカーは普及すると思いますか？

分量は生徒の状況に応じて調整する。またライティングタスクの前にスピーキング活動を行い、アイデアをクラスで共有してから、ライティングタスクに取り組むこともある。（蛇足だが、外部試験の導入が本格化するにあたり、ライティング指導に加えタイピングの指導が必要になると最近強く感じている。）

* *

今後も教科書や副教材にひと工夫加えて、目の前にいる生徒の英語力を伸ばしていきたいと考えている。

（ふじた よしひと・秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校

教諭）